



東京金山会通信

【問合せ】 東京金山会 広報担当 藤山 ☎080-5525-0435

No.84

東京・代官山で金山の魅力を発信
「山の恵みマルシェ」に出展

農林水産省の「山村活性化支援交付金」事業の一環として実施されている「山の恵みプロジェクト」は、振興山村に指定されている全国の市町村を対象に、山村地域の資源を活用した商品やサービスの開発支援や販路開拓を通じて、地域事業者の自立化を支援する取り組みです。このプロジェクトの一環として、3月7日と8日の2日間、東京・代官山の蔦屋書店（T-SITE）で販売会「山の恵みマルシェ」が開催されました。全国の山村地域から事業者が参加し、それぞれの地域の特産品や文化の魅力を都市部の来場者に発信しました。

NPO法人MOYAは、この東京販売会「山の恵みマルシェ」に初めて参加し、金山町をはじめ最上地域の商品や文化を来場者に紹介する機会となりました。ブースでは、金山産ピーナッツを使った製品を販売し、特に新製品のピーナッツかりんとうが来場者から好評をいただきました。お子様にも人気があり、その場で再度購入される方も見られるなど、地域の特産品の魅力をPRすることができました。さらに、金山町産の「米の娘」と「つや姫」をふんだんに使った「山の恵み弁当」も販売され、とてもおいしいと来場者から好評をいただきました。

また、文化体験として糶細工での米袋トートバッグ作り体験ワークショップを開催しました。ワークショップは、会場に興味を持って参加される方が多く、各回とも定員いっぱいとなるなど



①北海道から九州まで全国の山村地域が出展し、会場では各地域の特産品や文化が紹介された。
②糶細工での米袋トートバッグ作り体験ワークショップ。ステージのスクリーンでは100周年記念映像「金山の道、百年の光。」を上映。

好評でした。さらに、会場ステージでは町制施行100周年記念映像「金山の道、百年の光。」をフルバージョンで2日間、計6回上映し、金山町の美しい自然や景観、地域の暮らしなど町の魅力を紹介しました。

今後こうした機会を通じて、金山町の魅力を多くの方に知っていただくよう、地域の皆さんとともに取り組んでいきたいと考えています。

図書室だよ



◀新刊本情報はこちら

今月のおすすめの2冊はこちら

スイッチ・ライフ

夕鷲かのう/朝日新聞出版

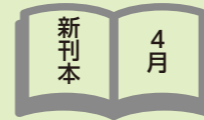


興味のない婚活パーティーに半ば強引に参加させられた理生。そこで出会った由弦に、些細な誤解から暴言を吐かれてしまう。翌日二人の性別が逆転する。今まで味わったことのない不自由さを感じながら、ふたりは自分の無意識に潜んでいた性別への偏見に気づき始め…。

明日があるのは、当たり前じゃない
やさしいオバケ/KADOKAWA



今この瞬間は二度とやってこないし、今日会えた人も明日は会えないかもしれない。楽しい思い出を作った日も、好きな人と過ごせた日も、何もうまくいかなかった日も、どれも大切な一日だったことを思い出させてくれる、優しく温かいエッセイ。



※() 内作者名

◀今月は8冊▶

暁星 (湊かなえ) / しっぽのカルテ (村山由佳) / お家がどこでも畑になる! カンタン水耕栽培 (みかんぼーや) 精神科医Tomyが教える心の中のネガティブさんと上手につきあう方法 (精神科医Tomy) じゃないものさがし (中垣ゆたか) / ころころスイカゲーム (Aladdin X株式会社) 明日があるのは、当たり前じゃない (やさしいオバケ) / スイッチ・ライフ (夕鷲かのう)

協力隊2年目を終えて



Instagramはこちら



地域おこし協力隊 川村 佳恵

皆さん、こんにちは。金山町地域おこし協力隊の川村佳恵です。この3月末で金山町に移住して2年が経ちました。今回は、協力隊2年目の活動についてご報告します。

令和6年5月から始めた移動式本屋「かぶりば」は、毎週水曜日に草々さんをお借りして出店(月の最終水曜日を除く)を続けています。町内の常連さんをはじめ、町外から訪れる方も本を通じた交流が生まれ、交流の場となっています。

また東京や台湾の方々や金山を問わず関係人口事業では、今年度は町内を巡るツアーを2回、都内での金山PRイベントを5回開催、台湾でのPR事業にも参加しました。こうした活動を通じて、全国・台湾の方と金山をきっかけに出会い、行き来する関係が生まれています。

そのつながりが発展し、ツアーやイベントに参加してくれた方が金山のPRイベントを自主的に企画したり、都内のマルシェで金山の物品を紹介してくれる機会も生まれました。東京・尾山台で開催されたクリスマスマケットでも、金山メンバーが東京に行かずとも、関係人口の皆さんが金山の物品をPRしてくださいました。3月1日には東京都立大学の学生が下北沢でマルシェを主催。ピーナッツの販売やレストランフロレストの「スタミナカレーレシ



▲3月1日、下北沢で開催された「にっぽんタタタ関わり案内所」



▲関係人口ツアーの様子

ピ」を料理長から提供いただき、学生が再現して提供し、金山の味を都内で楽しんでいただける貴重な一日となりました。

令和7年度の事業開催にご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました。令和8年度もツアーやPRイベントの開催などに取り組み、金山の魅力を伝えていきたいと思っています。

ぶんげい

金山杉俳句会 第五〇九回

淡雪を払ひし女の指白し
とりどりのカバン背負ひて新入生
阿部 一代(十日町)

立春と読んで吐く息尚白し
つむじ風羽さか立てて寒雀
星川 キエ子(山崎)

降る雪が雨に変わりて春兆し
湖の凍てし水面に浮かぶ鳥眠る
岸 昭子(山崎)

ほろよいに新年迎え夫婦酒
ローバイの枝にまばらや黄花の香
高橋 洋子(中田)

待つと言ふ刻も楽しや雪螢
「自愛せよ」と一筆添えある春ショール
鶴沼 よし子(十日町)

山里へ春分の日の雲光る
夜鴉の聲に躡く春の闇
栗田 弥超(石巻市)

かねやま紅風会

仏前の夫に供える春の花
一時の爽やか体操心ち良く
春を呼ぶ輪投げ競技に老む忘れ
阿部 勝子(荒屋)

春めきて遠出の旅を待日より
遠き日の思い出偲ぶ春の夜
若くして仏間に供へる春苺
関 喜美子(荒屋)

暮落ちて朧に浮かぶ春の月
庭先や餌を探がしの春雀
白鳥の仲間引連れ北帰行
庄司 けみ子(菅越)

限りある命の灯篭子鳴く
来世は鳥かもしれぬ梅ふぶむ
春の宵そば降る雨に濡れ偲ぶ
青柳 キエ子(七日町)

花筏夫婦絆の強さかな
八十の春苦難山坂越へたのに
病む妻の肩で息する枕もと
阿部 一步(上台)